

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

相手と目的を意識して、自分の考えとそれを支える理由や事例を整理して、書き表し方を工夫して書く力

言語活動とその特徴

児童会からの呼びかけに答えるために学校生活の中で、身の回りにあれば便利で使ってほしい絵文字(学校のルールや活動)を考え、なぜその絵文字を伝えたいと思ったのか文章を書く活動を設定している。だれに何を伝えたいのかを自分で決めることで、目的や相手意識を明確にし、伝えたいという意欲をもち続けて活動できると考える。

教材の特質

本教材は、自分が考えた絵文字を学校の中で使ってもらいたいという思いをもつことで主体的に取り組める活動である。また、分かりやすく伝えるために、考えとその理由や事例を書く力を付けるのに適した教材である。教科書の例文やこれまでに付けた力を活用して文章を書き、6年生に評価してもらうことでよりよいものにし、相手に納得してもらう文章にすることができると考える。

児童の実態

3年生6月「調べて書こう わたしのレポート」では、伝えたいことを整理してレポートを書く学習を行った。その際、調べて分かったことと調べた感想を分けて書くことを学習した。授業の中で、自分の考えを先に述べ、その後で考えた理由を述べることは、ほとんどの児童ができていた。書くことにおいては、それを順序だてて書いたり事例などを入れて詳しく書いたりすることに課題が見られる。

指導観

第一次では、絵文字とは何か、身のまわりにはどんな絵文字があるのかを知り、身の回りにあれば便利だという呼びかけの絵文字を考えて提案するというゴールを示して目的意識をもてるようにする。  
第二次では、自分が考えた絵文字について自分の考えを説明する文章を書く活動を行う。相手に分かりやすく伝えるために、まず自分の考えを述べたうえで理由をあげるという文章の組み立てを知り、考えとそれを支える理由と事例を挙げながら書く。そして、なぜこの絵文字を伝えたいと思ったのか取材した事例を加筆してより説得力のある文章にする。  
第三次では、推敲した後、提案したい学年に考えた絵文字を伝え、付いた力がどんな時に活用できるか振り返りを行う。

2 単元の目標及び単元の評価規準

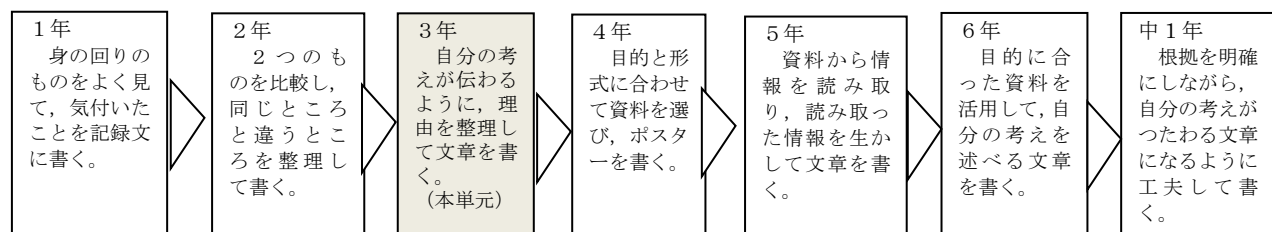
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
絵文字をもとに、考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。(2)ア	自分の考えを明確にし、それを支える理由や事例を示す表現を用いて書くことができる。 B U	進んで自分が考えた絵文字について、考えた理由や事例を整理して書こうとすることができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵文字をもとに、考えとそれを支える理由や事例との関係について理解しようとしている。(2)ア	「書くこと」において自分の考えを明確にし、それを支える理由や事例を示す表現を用いて書こうとしている。 B U	進んで自分が考えた絵文字について、考えとその理由や事例を整理して書き、今までの学習を生かして提案しようとしている。

3 単元の系統性

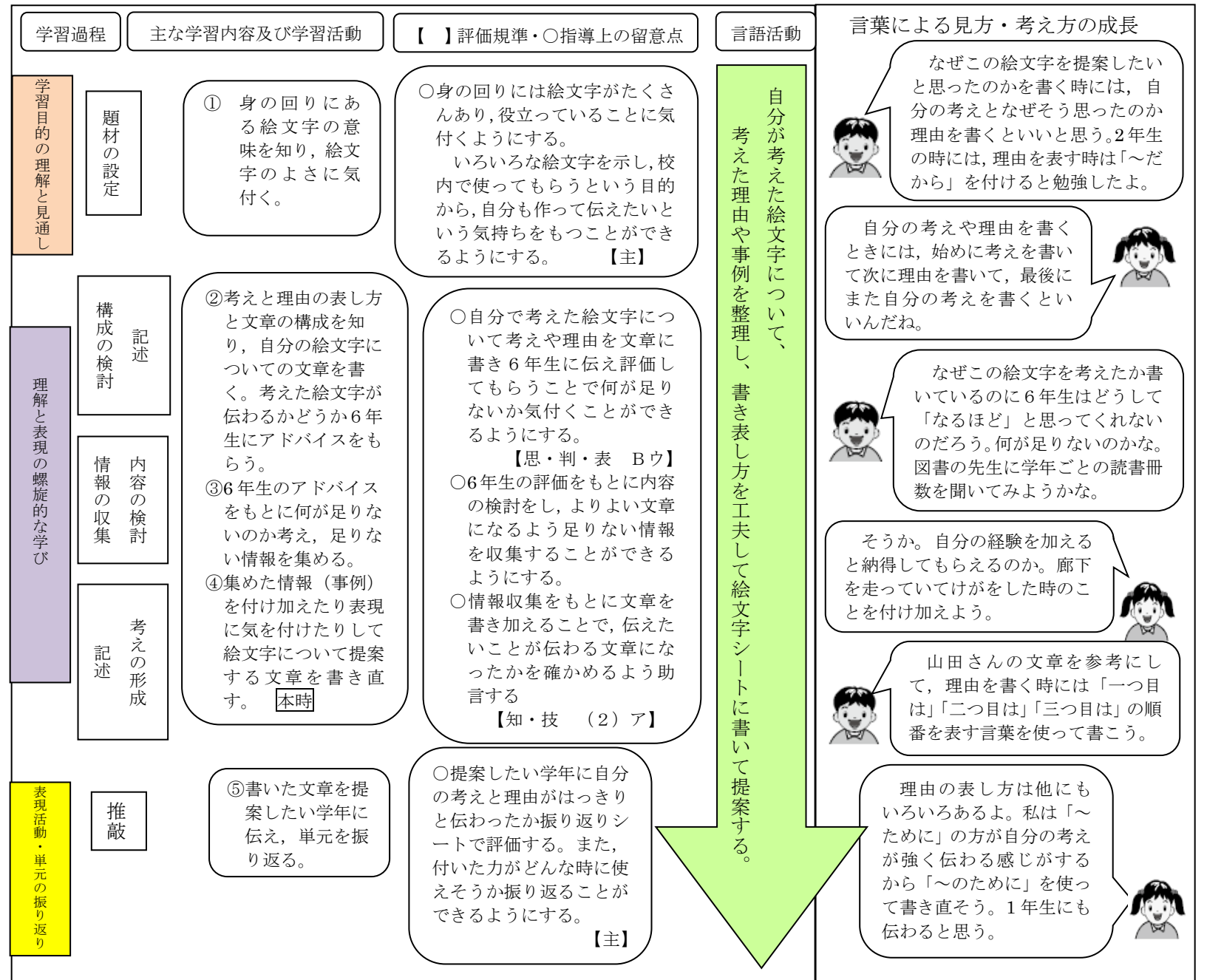


4 研究主題に迫る手立て

研究主題：目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方  
—学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通して—

- 伝えたい学年と伝えたいことを自分で決めて絵文字を考える。相手に分かりやすく伝えるためにまず6年生に読んでもらい、情報の必要性に気づき取材をし、さらに自分の考えを明確にしていくことができるようにする。(学習過程の工夫)
- 考えた絵文字とその理由が相手に伝わるように、集めた情報を整理して文章を書くことができるようにする。(情報の扱い方の指導)

5 学習の流れ



本単元終了時の目指す児童の姿  
○自分の考えを伝えるために、その理由や事例をあげて整理して文章を書こうとする姿

6 本時の学習 ( 4 / 5 時間)

(1) 目標

集めた情報を使って考えとその理由や事例を整理して絵文字を提案する文章を書くことができる。

(2) 展開

学習過程	学習活動及び学習内容	主な発問等 (※) 予想される児童の反応 (○)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
理解	1. 単元のゴールを確認する。 2. めあてを確認する。	○年生にいてあんしたい! めあて 集めた情報をどこに入れると「なるほど」と思ってもらえる文章になるか考えよう。	● 学校生活にあったら便利な絵文字カードを校内で使ってもらえることを確認し、6年生や提案学年に「なるほど」と思ってもらえるように文章を書き直したいという意欲を高める。
情報整理	3. 自分の文章のどこに何を付け加えたらよいか考える。 ・集めた情報と考えた理由の結びつき (個人) (全体)	※集めた情報を文章のどこに付け加えたら「なるほど。使いたい」と思ってもらえるだろう。 ※どうして集めた情報をその部分に入れたのですか。 ○一つ目の理由と□□先生に聞いたことがつながるところだと考えたから。 ○一番言いたい理由の中に付け加えて書いたら、この絵文字を考えた理由が伝わると思うから。 ○図書の先生に聞いた□年生の読書冊数を借りに行っていないと思った理由の部分に付け加えたら、たくさん借りてほしいことが伝わると思ったから。	● 取材して分かったことをどこに付け加えるとよいか考えるよう支援する。 ● 書き加えることと書き加える箇所に青色の印をつけるよう支援する。
表現・評価	4. 伝えたいことカードに沿って詳しく提案する文章を書く。 (個人) (ペア)	※集めた情報を入れて、絵文字シートに提案する文章を書きましょう。 ○インタビューして分かったことを入れたら、伝えたいことカードに書いたことが詳しくなった。	● 集めた情報と自分の知識や経験、考えのつながりを意識して文章を書くことができるように助言する。
推敲	(個人)	○考えを伝えるには、インタビューして分かったことと自分の経験をつなげて書くといいんだね。	☆【知・技 (2) ア】 (発言・絵文字シート)
振り返り	5. 振り返り 家庭学習 出来上がった文章を家の人にも聞いてもらう。	○自分の経験やインタビューをして分かったことを付け加えたから「なるほど」と思ってもらえると思う。これからも、いちばん伝えたい理由をくわしく書きたい。	● 提案する文章を書くときに大切にしたいことを書くよう指示する。

(3) 板書計画

(4) 準備物

書画カメラ , 絵文字シート

言語活動のモデル

※本校では、平成29年度に告示された新学習指導要領に基づき、育成すべき資質・能力の3本柱で目標及び評価を設定し研究を進めています。